

NIKKEI

ニッケイ・ネットワーク

海外日系人協会だより

Network

2009

NO.3

DEC.

歓

迎交流会に天皇皇后両陛下がご臨席

第50回海外日系人大会開催 21カ国から200人が参加!



式典であいさつする麻生渡会長(10/14 憲政記念館)

当協会は10月14～16日の3日間、東京・千代田区永田町の憲政記念館および新宿区市谷のJICA研究所を会場に、「第50回海外日系人大会」を開催した。

1957年の「国連加盟記念海外日系人親睦大会」としての第1回開催より50回の節目を迎えた本大会は、総合テーマを「海外日系社会と日本—海外日系人大会半世紀を振り返り、共生と繁栄を求めて—」とし、2日目の代表者会議で、海外日系社会にとっての日本、日本語教育、在日日系人、若手リーダーの育成等について討議が行われた。初日には、来日中の留学生、研修員ら

によるユース会議が行われ、日本財団留学生等による在日外国人子弟に対する取り組みなどが代表者会議において報告された。代表者会議の「在日日系人」に関するセッションでは、JICAが地方に配置した元相談補助員が、日系人のおかれている現況などについて報告を行った。

式典終了後に行われた歓迎交流会には、天皇皇后両陛下がご臨席になり、海外参加者と親しく懇談された。

今大会の海外からの参加者は21カ国から200人であった。

(2頁にグラビア)

ひとの毎日を、
もつともつと素敵にする
お手伝いをしたい。
いま、わたしたちは、
建設という仕事をとおして
どんなお役にたてるのか、
じっくりと考えています。
これまでの道を、
静かに振りかえりながら、
燃える思いを、
胸につよく抱きながら。

あゆんできた道。
きずいてゆく道。



TAISEI
大成建設株式会社
本社 東京都港区西新町1-25-1

写

真で見る第50回海外日系人大会とそのあゆみ



歓迎交流会で杯が上げられる天皇皇后両陛下(憲政記念館10/14)



フィリピンからの参加者と記念写真に応じる岡田外務大臣(外務省飯倉会館10/15)



熱心な討論が繰り広げられた代表者会議(JICA研究所10/15)



衆参両議院議長主催歓迎会で海外参加者を代表してあいさつするハワイの富田いく子さん(憲政記念館10/16)



視察研修で国会議事堂を見学(10/16)



第1回は1957年「国連加盟記念海外日系人親睦大会」として開催された



第15回大会には、初めて皇太子同妃両陛下がおそろいでご臨席になった(砂防会館ホール 1969)

外国人集住都市会議おおた2009が開催

南米日系人を中心とする外国人が多く住む自治体28が加盟し、意見交換や国への政策提言を行う「外国人集住都市会議おおた2009」が11月26日に群馬県太田市で開催された。

01年に浜松市で第1回の会議が開催されて以来、これまで豊田市、四日市、美濃加茂市が座長となり継続されてきた。

会議では群馬・静岡ブロック、長野・愛知ブロック、岐阜・三重・滋賀ブロックの3ブロックより外国人への情報提供、日本語学習等についての研究報告が行われたほか、各省庁からの報告と、首長との討論会も実施された。

最後に、景気悪化後、生活基盤が崩壊しながらも帰国することなく日本に留まる選択をする外国人も多いことから「長期滞在・定住化傾向が明確になった」とし、国の「外国人受入



方針」を定めること、外国人庁を設置すること、外国人の子どもの就学の義務化と外国人学校の法的位置づけの明確化、からなる「緊急提言」を採択した。

コロンビア移住80周年記念式典開催

福岡県が慶祝団を派遣



3世、4世の青年部の皆さん

日本人のコロンビア移住80周年を記念する式典が11月7日にバジェ県カリ市内にあるホテルで開催された。日本人のコロンビア移住は、日本政府の依頼を受けた海外興業会社の「コロンビア農業試験移民」に応募した福岡、山口、福島県からの5家族25人が、1929(昭和4)年11月16日に現地に到着したのが始まりで、今年で80年になる。記念式典が開催されたカリ市は首都ボゴタから約5百キロ、標高1000mの高原にあり、約1200人と推定されるコロンビアの日本人・日系人の大半が住んでいるという。

式典はコロンビア日系人協会(町田栄会長、新潟県出身)の主催で開かれ、協会会員や家族、来賓ら約300人が参列した。町田会長は「先輩たちは、原始林を拓き、コロンビア農業

に貢献した」とその功績を称え、「今後も日本人としての誇りを失わず、両国の懸け橋になる」とあいさつした。在コロンビア日本国大使館の寺澤辰磨大使、地元バジェ県知事、コロンビア共和国文化大臣の祝辞に続いて麻生渡福岡県知事(全国知事会会長、海外日系人協会会長)の祝辞を福岡県国際交流局の猿渡稔交流第二課長が代読した。移住者を代表して志波十三香さん(81才、福岡県出身)が日本語で、移住者子弟を代表して森光ホセ隆男さんがスペイン語で、それぞれ、お礼の言葉を述べた。

式典のあと、来賓らによる鏡割りで祝宴に移り、協会婦人部委員の踊り、文化庁から「文化交流使」の指定を受けたNPO法人「和文化普及協会」(本部・東京)会員による江戸からくり、尺八、和太鼓が披露された。

コロンビアへの日本人移住で特筆すべきは、戦前の3次にわたる「農業試験移民」制度で移住した計110家族159人の93%にあたる148人が福岡県出身だということである。

(レポート 福岡県海外移住家族会理事 関吉夫)

いざ中南米日系社会へ

JICA日系社会青年ボランティア、シニア・ボランティア 当協会が募集選考、派遣前訓練を受託実施

日系社会青年ボランティア、シニア・ボランティアの平成21年度募集が11月9日に締め切られた。

現地日系社会からの要請を見ると、青年が、ソーシャルワーカー、編集、幼児教育、青少年活動、野球など約40件で、最多は日系日本語学校教師の23件。シニアが病院運営管理、介護福祉、作業療法など17件で、こちらも日本語教育が10件と最多となっている。21年より派遣されている青年ボランティア現職教員派遣とあわせて約60名がアルゼンチン、ボリビア、ブ

ラジル、ドミニカ共和国、パラグアイへ派遣される予定。

当協会は、日系社会ボランティアの募集・選考にかかる業務から、派遣前訓練までを一貫して独立行政法人国際協力機構(JICA)より受託実施している。

順次選考を実施し、1月までに2次選考を実施。2月には合格が決する。合格者は、4月上旬から6月上旬にかけて語学学習を中心とした約60日間の派遣前訓練を受け、その後、各国日系社会に派遣されることになる。

コラボラドーレス・シンポジウムを開催

厚労省山田外国人雇用対策課長が講演

当地サンパウロでは、11月に入ってから本格的な夏を迎え、日一日と暑さが厳しくなる季節になりました。他方、日本では朝夕の冷え込みが増す季節となったことと存じますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は10月24、25日に開催しましたコラボラドーレス・シンポジウムについてご紹介させていただきます。

まず、コラボラドーレスとは日本就労者生活アドバイザー（当地呼称、地域コラボラドール：ドーレスは複数形）で、主にブラジル国内の日系人集住地域に於いて、必要な相談に応じる等、CIATEの活動にボランティアで協力するスタッフの事を言い、地域の日系文化協会や有力者の推薦の下に、デカセギの経験のある人を主に、コラボラドールを委嘱しています。2002年にコラボラドールを各地に設置するとともに、遠隔地にいるコラボラドールを年に1度サンパウロに参集させ、研修及び各地での体験発表を行うとともに親睦を深め、その機会を一般の参加者にも開放し、日系人の就労に関して、日伯双方の有識者、関係機関の方々によるシンポジウム（セミナー）を同時開催するようになりました。

上述のように、10月24、25日の2日間、ブラジル日本文化福祉協会（文協）の小講堂に於いて国際フォーラム「世界的危機に直面したデカセギ者」を開催いたしました。

24日（土曜日）18時より日伯両国政府、日系諸団体の各代表、マスメディアなど約100名を迎えて開始しました。大部一秋・在サンパウロ日本国総領事を筆頭に塚田千裕・海外日系人協会理事長（代理 西脇祐平・海外日系人協会調査役）の祝辞を戴き、次に、山田雅彦厚生労働省職業安定局外国人雇用対策課長による「日系人が戦後最悪の雇用危機を乗り越えるために一日本政府の取り組み」と題する特別講演が行われました。

内容は表題の様に、現在の日本の雇用情勢は、戦後最悪水準でさらなる厳しさを増している状況にあり、今回の雇用危機

は悪化のスピードがあまりにも急速であり、どの業種、どの地域も総じて厳しい状況である事が特徴である、との認識を示されました。

次に、オットー・アグリッピノ・マイア・ブラジル国外務省在外ブラジル人担当次官補から「ブラジル政府の在外ブラジル人就業支援策について」と題する報告が行われました。昨年の経済不況の中、ブラジル中央銀行のデータを示し、在外ブラジル人の外国からの送金が2009年1月～3月までに31%の減少で、特に大きな落ち込みは、日本からの送金で37%減に達するとの事でした。（在米国ブラジル人送金は25%減）従来の在外領事館業務での支援以外にも、支援の必要性を感じ、総領事館の、新しい支援モデル業務の構築などに言及されました。

ワルテル・飯星ブラジル国連邦下院議員は「在日ブラジル人に対するブラジル政府の対応について」と題する報告を行い、日本政府が今回打ち出した一連の支援策を評価し、感謝の意を表されました。

また、日伯議員連盟会長として、在日ブラジル人の将来の保障と成るであろう、政府間の社会保障協定に向けての交渉状況も述べられました。

その後、真田・エレナCIATE職員が最近出版したデカセギ経験者10名のインタビューを中心にした本「O Brilho da Alma」（日本語訳「魂の輝き」）の紹介とプログラムの最後として、本人及びCIATE日本語講習会参加者6名による歌唱とダンスのアトラクションを披露したのち、夕食会での歓談でこの日は終了しました。

翌25日（日曜日）9時30分より前日同様に文協小講堂でシンポジウムを開催しました。

ブラジル・日本両国より其々の分野の専門家を迎え、報告と講演が行われました。

講師と講演内容は次の通りです。
尾崎正利青森中央学院大学教授
「日系ブラジル人の組織化と国際連帯の課題」

小島祥美愛知淑徳大学講師

「在日ブラジル人の子供が置かれた教育環境」

山田雅彦厚生労働省職業安定局雇用対策課長

「日系人を取り巻く日本の雇用情勢と、日本政府の雇用対策」

※前日と同じように日本の雇用情勢の従来でない厳しい現状を説明し、外国人雇用行政担当部署である、外国人雇用対策課の施策説明。（ハローワークを中心とした相談、支援窓口の強化、日系人就業準備研修、日系人離職者帰国支援事業など）

水井健次三重県鈴鹿市教育長

「外国人児童生徒の教育について一鈴鹿市教育委員会の取り組み」

ジョゼ・ロベルト・メロ ブラジル国労働雇用省サンパウロ労働局長

（代理 アチリオ・ベッペ同次長）

「ブラジル国労働雇用省の帰国ブラジル人就業斡旋について」

※労働・雇用省と、日伯団体との協定締結を目指し、これを支援の核として、リベルダーデ地区に於いて、2010年より支援対応を開始したい旨の説明がなされた。

レナト・ブソエン レドゥプラン・コンサルタンツ社長

「雇用の可能性と起業の可能性」

長谷川・エドウイン ブラジル日本文化福祉協会職員

「人生における、真の意味でのデカセギ体験」

ソラヤ・カゼラ サンジューダス・タウデ大学体育学部学生

「デカセギ体験で学んだこと」

トム・コエリョ エコノミスト

「就労者における、ファイナンス・プランニングについて」

当日は約110名が参加し、各講演終了後の質疑応答も、活発におこなわれました。このようにして、全プログラムを予定通り終了し、成功裏に終了出来たことに、CIATE職員一同感謝を申し上げる次第です。

社会保険 ブラジル家族も被扶養者に

相談センター所長 西山 巖

(財)海外日系人協会 日系人相談センター

■相談受付 月曜日～金曜日(土・日曜、祝祭日を除く)
9:30～12:30 13:30～17:30

■対応言語 ポルトガル語、スペイン語、日本語

■電話番号 045-663-3258

2009年4月から11月まで(8カ月間)における当相談センターが受け付けた相談件数等は次の通り。

相談者の人数は2,890人、相談件数では4,704件(前年度比17%増)であった。相談者2,890人の男女別内訳は、男性1,428人、女性1,462人で国別では、ブラジル38%、ペルー34%、その他9カ国となっている。内容別にみると、生活相談が一番多く、その他労働問題と続いている。

家庭内の会話

相談 来月失業保険が切れる。妻と息子は働いており、娘はシングルマザー。子供達は日本の公立学校、高校を出て工場に就職している。妻は日系人なので日本語ができ、息子と話ができるが自分はこの年までどうも日本語を覚えることができなかった。その為、子供達との会話ができない。2年前妻は多くの買い物をし、借金を残している。そのため毎月返済しているが、その額は一向に減らない。それやこれやで妻と息子はいつも口論しているが、日本語なので自分には分からない。また、自分が親よりの愛情を受けていないので、息子に何をすべきか分からない。今後どのように対処すればよいか。

対応 20年近く異国で暮らし、家族の中で唯一日系人でない疎外感や、失業中で将来への不安があり、日本語も理解できないことから、子供達とのコミュニケーションもできない状態の由、しかし、父親である以上、妻や子供達にも父親としての威厳を示すべきです。息子に対しても、時には身を賭けても力で導く必要があるでしょう。

社会保険(被扶養者の範囲)

相談 12年前に来日し、主に電子部品の製造工場で働いてきました。日系人専門の派遣会社に雇用された形での間接雇用であり、これまで社会保険等には加入していませんでした。我が家には中学生以下の子が3人おり、以前から社会保険の加入を派遣会社に要望し続けていたのですが、会社の意向以外にも保険料が高いと反対する単身者も多く、そのため日系人従業員は全員が未加入でした。しかし時勢の影響か、派遣会社もやっと今月から社会保険に加入する手続きをとることになり、加入希望者のみに対して会社から申請書類の提出を求められました。

こうした状況のもとで、被扶養者の名前を記入する用紙を渡された私は、扶養家族4人とブラジルに住む両親および娘(18歳・学生・前妻との子)の氏名等を書いて提出しました。ブラジルの両親へ定期的に生活費を送金しており、娘の養育費も毎月払っているので当然扶養が認められると思いました。ところが、担当者から「海外に住んでいるから被扶養者に該当しない」と書き直しを命じられました。所得税の扶養控除などには認められている家族なのに何故だめなのですか。

対応 社会保険制度における被扶養者の範囲をみると、ブラジルに住むあなたのご家族は同居の有無にかかわらず被扶養者として認められる親族に該当します。従って会社の担当の方にもういちど被扶養の確認をお願いして下さい。 社会保険庁のホー

ムページなどにも被扶養者の範囲や条件が掲載されていますのでご覧下さい。

ただし、健康保険の被扶養者になった場合でも、外国で支払った医療費が日本で給付を認められない場合があります。 海外療養費の給付は特例であるため、支給するしないは審査官の裁量に任されているそうです。

詳しくは、管轄の全国健康保険協会の都道府県支部にお問い合わせください。

任意継続健康保険

相談 15年前から働いていた工場が、とうとう来月末で閉鎖されることになり、多くの従業員が日本人・日系人の区別なく解雇を予告されました。長いあいだ派遣会社を通じて雇用されていましたが、3年前に直接雇用になり切り変えてもらうことができ、それと同時に社会保険にも初めて入りました。「これで日本での生活が安定した」と家族と共に喜んだことがまるで昨日のようです。子供たちは日本の学校しか通ってないので、ブラジルへ帰国する選択肢は考えられず、このまま日本で再就職先を探すつもりです。

健康保険について質問ですが、会社の担当者から「任意継続を申請しますか?」と尋ねられました。私としては、失業後も社会保険料を払い続けるのは大変ですし、まして会社が半分払っていた分まで個人で負担することは不可能だと思います。それとも、国民健康保険に比べて何かメリットがあるのでしょうか。任意継続健康保険とはどんな保険ですか。

対応 国民健康保険は前年度所得を基礎にして保険料を算定しています。したがって、失業して収入がないにもかかわらず、在職時の収入で保険料の負担をしなくてはならないのです。通常、健康保険(社保)は勤労者が加入しておりますから加入者の平均年齢が国保よりも低く、保険料は国保よりも安くなっています。そこで、2年間だけ社険の被保険者としての資格を延長できる制度が作られました。

ただし、任意継続の保険料は、事業主負担がありませんから、その分も自分で負担しなくてはなりません。しかし、その保険料額は、算定基準となる標準報酬月額28万円を限度としているので、多くても3万円程度の保険料負担ですむはずですが、また、任意継続健康保険には被扶養者の制度があることが国保と比べた場合のメリットといえるでしょう。したがって、任意継続に加入されるかどうかは、お住まいの市区町村の国保担当課で試算してもらい、任意継続との比較をされてから判断をされたほうがよいでしょう。なお、国民健康保険に加入する、または健康保険の被扶養者になるためという理由等で勝手にやめることはできないので注意しましょう。

任意継続被保険者となるための主な要件は、

- (1) 資格喪失日の前日までに「継続して2ヶ月以上の被保険者期間」があること。
- (2) 資格喪失日から「20日以内」に申請すること。

詳しくは、管轄の全国健康保険協会の都道府県支部にお問い合わせください。

皇后陛下が海外移住資料館をご訪問



JICA横浜 海外移住資料館で10月16日より12月20日まで開催された企画展「海を渡った花嫁物語」のご観覧のために、12月4日に横浜市中区新港のJICA横浜を皇后陛下がご訪問された。

同企画展は、海外へ夢を求めた女性達の先駆けともいえる「花嫁移住」をとりあげ、第2次大戦で敗戦後日本に駐留したアメリカ人兵士と結婚し渡米した「戦争花嫁」などを写真や映像、資料で紹介した。

今年も南米移住周年行事の当たり年 皇室も御参席され各地で記念式典

今年の日本人移住に関する周年行事を振り返ってみると、ペルー移住110周年記念式典が6月14日に首都リマで、常陸宮同妃両殿下の御参席の下開催された。また、ペルー移民を期限とするボリビア移住110周年記念式典も同月18日にサンタクルスで、常陸宮同妃両殿下の御参席の下開催された。両殿下はそれに先立ち16日にオキナワ、17日にサン・ファン両日本人移住地を訪問された。

9月には、「アマゾン日本移民80周年祭」が、16日に最初の入植地トマスーで、18日にベレンで、21日にマナウスでそれぞれ記念式典が行われた。JICA横浜海外移住資料館においても8月11日から10月14日まで「アマゾン日本移民80周年祭特別展示-アマゾンへ渡った日本人の軌跡」が開催された。

日系社会 Topics

11月7日にはコロンビアで日本人移住80周年を祝う記念式典が行われた。(3頁に既報)

ドミニカ共和国移住50周年記念誌が発刊



「ドミニカ共和国日本人農業移住者50年の道 青雲の翔」(編者 嶽釜徹 ドミニカ共和国日本人移住50周年記念祭執行委員会記念誌編纂委員会)が10月31日に発刊された。

第1部は06年に行われた移住50周年記念式典の様子、第2部は各移住地に残った人々の証言、そして第3部は、未来を担う若い世代の声を集めた。

編者の嶽釜徹ドミニカ日系人協会会長は、「(日本政府との間の訴訟問題は)若い世代が引き継ぐべきではない。我々を土台にして頑張りたいと言いたい」と語った。

当協会で6,500円(税込み)にて販売中。当協会ウェブサイトからも購入できる。

日本・中南米国会議員連盟会長に横路衆議院議長

日本・中南米国会議員連盟は、会員を一にする日伯国会議員連盟(麻生太郎会長)との合同総会を11月27日に都内で開催し、河野洋平前会長の引退以来空席だった会長に、横路孝弘衆議院議長を選任した。総会終了後は、平成21年度

中南米大使会議に出席のため帰国中の22カ国の大使らと懇談会を行った。



《賛助会員便り》

韓国 熊田和子さん(芙蓉会)



韓国に来て50年になります。初めは、スパイが来たのではないかと疑われ、生きた心地がしませんでした。市場に行くと「あら、日本から来たの? 懐かしい! さわらせて!!」と皆に囲まれて困り、第一、言葉はチンプンカンプン。当時、韓国入国は全く許可されないばかりか、日本海には李承晩ラインなるものがあって両国間は厳しい緊張関係にありました。

元々私は、韓国ではなくて、聖ドミニコ会修道院(東京都渋谷区南平台)の神父様の実家であるカナダへ行って勉強することになっていました。それが、急に韓国行きとなって、当時教皇庁特別使節として来日されていたピッター神父様が、ご自分の車に乗せて下さり、麻布の韓国大使館に毎日のように出向き、ビザ発給を合わせてくださいました。私の韓国行きには、聖心会修道院の管区長様まで、大変なお力をお貸し下さったのです。やはり神様のお導きであったのだと思っています。

貴協会の草の根支援が受けられて、お世話している芙蓉会高齢会員の杖や、シルバークートをたくさんいただき、大いに喜んでます。

NIKKEI NO.3 Network 2009 DEC. 海外日系人協会だより

発行/ (財) 海外日系人協会 〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-3-1 赤レンガ国際館2F TEL: 045-211-1783 FAX: 045-211-1781 E-mail: info@jadesas.or.jp URL: www.jadesas.or.jp 編集発行人/ 沢地 真



HEALTH AND LIFE INSURANCE FOR FOREIGNERS LIVING IN JAPAN

～日本で安心して生活するためのセーフティネットとして～

日本初!外国人のための医療保険(100%保障)・生命保険

VIVAMED (医療+生命保障)

¥9500×6回払(一括払1年¥53,500)

VIVALIFE (生命保障)

¥3,800×6回払(一括払1年¥18,900)

(株)ビバビーダメディカルライフ <関東財務局長(少額短期保険)第51号>

www.vivavida.net

vivavida

検索

0120-656-684 / 046-265-6685